

うるま市議会 だより

第41号

平成27年(2015)
発行 9月 15日



平成27年8月21日に開催された「うるま市こども議会」



一般質問(6月定例会)

6月定例会には27名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。

紙面の都合上、簡潔な表現になっております。

なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページでご覧ください。

目次

一般質問	2
第95回5月臨時会議決結果	16
米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する抗議決議	16
第96回6月定例会議決結果	17
第97回8月臨時会議決結果	19
米陸軍H-60型ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議	19
こども議会の開催について	20

■発行:うるま市議会 ■編集:議会広報編集調査特別委員会

住所 〒 904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123



一 勝連城跡周辺文化観光拠点整備基本計画について
二 中小企業支援事業について

たまえ
玉榮 登次

一 勝連城跡周辺文化観光拠点整備基本計画について

質問 県道16号線沿いの浜屋入口の3差路から勝連城跡区間の景観について、通行人や通行車両の目線から南風原地区の田園風景を見渡せる整備を提案する。

答弁 島袋都市計画部長 雑木の伐採や無電柱化により見通しをよくし、植栽やベンチなどの整備により歩いて楽しめる空間を創出できると考えている。

質問 うるま市景観条例の制定にあたり、南風原区の住民に対するメリットとデメリットについて市の見解を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 景観地区条例による制限は長期的には風情のある街並みを形成することで観光地としての魅力を高めるが、建築物や工作物においては高さや外観が制限され、負担をかける部分もある。

質問 南風原区における観光の形態を通過型観光から時間消費型観光に移行するための施策の必要性を提言する。市の所見を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 文化観光拠点と本集落を結ぶ県道を整備し、回遊ルートとして連携することで南風原集落の「拝所」や「カー」などの地域資源を活用していきたい。

質問 南風原集落内に小規模の休憩所を設置することで地域内での時間

消費と経済効果が得られると考えるが、市の対応を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 回遊観光に向けた整備の際には休憩所の設置を検討する。

質問 集落内における観光客向けの駐車場設置について市の対応を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 休憩所と同じく重要性を認識しており、駐車場の設置を検討していきたい。

二 中小企業支援事業について

質問 平成25年7月に策定された中小企業振興基本条例の市場への成果について。また、条例策定後の市の具体的な活動を伺う。

答弁 上間経済部長 地方創生交付金を活用した設備投資に対する支援対策、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画、各種商品券発行事業、制度資金借入れの際の保証料補助、商店街通り会におけるイベント事業、特産品開発及びプロモーション支援事業、販促マッチングイベント事業、特産品販路拡大支援事業、観光商品の開発や民泊事業の推進などを実施または予定している。

質問 中小企業、個人事業主向けの補助や助成等の案内や説明会の開催を要望するが。

答弁 上間経済部長 補助や助成事業が広く活用できるようPRに努めていきたい。



一 新地方公会計の整備と活用について
二 マイナナンバー制度について
三 合併10周年記念事業について
四 生活困窮者自立支援事業の現状と課題について
五 コミュニティバスの運行について

なかもと
仲本 辰雄

一 新地方公会計の整備と活用について

質問 新制度では複式簿記を用いて財務諸表を作成する必要がある①職員に対して新たな知識を養うための方策②簿記の資格を取得させるなど人材の確保をどう考えているか。

答弁 喜納企画部長 ①自治大学校等の研修に職員を派遣し、新たな知識を培うための人材育成に取り組んでいく②簿記の有資格者を活用するなど人材確保の検討を進めていく。

二 マイナナンバー制度について

質問 住民票等コンビニ交付事業の一般質問に対して、当時の総務部長はマイナンバー制度がスタートする平成28年1月の施行に併せて、コンビニ交付のサービスが可能となるよう進めていくと答弁しているが、うるま市はいまごろ開始し、何種類の証明を予定しているか。

答弁 上門市民部長 開始時期は担当部署と調整を行い、早い段階で取り組んでいきたい。証明書は住民票他5種類を予定。

質問 コンビニ交付事業導入への見解を伺う。

答弁 島袋市長 セキュリティの安全も確保しながら円滑に事業導入を図って、市民サービスの向上に努めていきたい。

三 合併10周年記念事業について

質問 統合庁舎落成式典業務委託料1200万円もの多額な予算の内容は。

答弁 天願総務部長 一般市民も参加

できるイベントとして企画すれば盛り上がり期待できるとのことから、合併10周年と新庁舎落成の合同式典、合同祝賀会、市民参加の祝賀イベントの三部構成である。

質問 企画総務委員会、事業執行に当たってはより慎重に対応し経費削減できるよう努力していきたいとあったが、検討をしたか。

答弁 天願総務部長 十分に精査し、より効率的、効果的な提案を引き出せるようにしたい。

四 生活困窮者自立支援事業の現状と課題について

質問 この制度は自立をしていくことが目的であり、就職した後のアフターケアが必要であると考えるが。

答弁 山城福祉部長 生活困窮者の自立や就労等の支援体制の構築に努めていきたい。

五 コミュニティバスの運行について

質問 津堅島の利用者に対する対応を伺う。

答弁 喜納企画部長 フェリーの発着時間に合わせることで難しく不便をかけたが、本格運行で車両の増車を検討していることから運行時間の設定を検討させていただきたい。

質問 この事業は新市建設計画にあるコミュニティバス事業と捉えて良いか。

答弁 喜納企画部長 同じような事業内容として位置づけて取り組んでいきたい。



- 一 石川屋内運動場の雨漏りについて
- 二 学校での空手指導について
- 三 生活保護申請者の死亡時における医療費支払いについて
- 四 入札方法の改善と教育部施設課の業務内容について

まつだ ひさお
松田 久男

一 石川屋内運動場の雨漏りについて

質問 市内の障害児デイサービス事業者が行ったイベントの際に雨漏りが激しく避難する事態となった。またコンセントも使えず発電機を借用した。以前の補修が有効でなかった原因は何か。

答弁 赤嶺教育部長 平成24年度に補修を行ったが、老朽化や台風時の影響により新たな漏水箇所が発生したと考える。

質問 盆栽展などのイベントにおける損害補償について詳しい説明を求める。

答弁 赤嶺教育部長 建物の瑕疵による盆栽の被害は保険の適用となるが、イベント自体への補償は無い。

質問 補修に一括交付金を検討できないか。

答弁 赤嶺教育部長 厳しいと考える。

質問 今後どのように考えているか。

答弁 赤嶺教育部長 関係部署と調整を図り補修していきたい。

二 学校での空手指導について

質問 2013年に議会で要請したが、うるま市空手道古武道連盟からも同様な趣旨で要請書が出ているが検討したか。

答弁 嘉手苅指導部長 予定していたが体育館改修の為に実施できなかった。

質問 要請文は教員も対象にした意欲的な提案になっているが。

答弁 嘉手苅指導部長 教員を対象とした講習会は学校と連携し検討したい。

三 生活保護申請者の死亡時における医療費支払いについて

質問 最近市内に転居し生活保護を受けて入院した方が亡くなった。入院の手続

きの際に保証人が必要とのことから、民生委員が保証人となった。その後、病院から診療費の請求があり、市は医療費の支給はできないとのこと、やむなく民生委員が支払った。申請すればその時点で保護対象になると説明を受けていたが、説明に間違いはなかったか。

答弁 山城福祉部長 間違いはない。

質問 転入入院手続きは民生委員の仕事か。

答弁 山城福祉部長 本人が扶養義務者である。

質問 病院が保証人を求めた場合は役所か、民生委員か。

答弁 山城福祉部長 役所は保証人にならない。

質問 保証人に請求が行き、役所が拒否したので支払った。その対応に問題はなかったか。

答弁 山城福祉部長 医療費は現物給付として支給しており、申請に基づく調査決定等については適切な対応であったと考えている。

質問 領収書は医療費と明確に書かれているか。

答弁 山城福祉部長 請求分は日用品と理解している。

四 入札方法の改善と教育部施設課の業務内容について

質問 設計・施工は建設部に統合した方が業務の改善になると思うが。

答弁 赤嶺教育部長 平成32年まで計画があるので今後検討する。



- 一 勝連南風原景観地区まちづくり計画について
- 二 津堅島キャロットアイランド公園の現状について
- 三 平敷屋旧製糖工場周辺整備について

にしのかずお
西野 一男

一 勝連南風原景観地区まちづくり計画について

質問 旧勝連町で規定された「勝連城跡の環境保全に関する条例」と10月1日施行予定の「うるま市景観地区条例」この整合性は。

答弁 島袋都市計画部長 両条例とも勝連城跡周辺の良好な環境維持・景観創出を目的としており、目指す方向性は同じで整合性は図られている。

質問 建築確認申請の30日前に認定申請を受ける根拠と外壁の色、生垣等も図面化しての認定申請になるのか。

答弁 島袋都市計画部長 景観法第63条第2項にて建築物と同様としている。また、建築確認が下りても景観の認定証の交付を受けなければ工事着手はできない。

質問 外装の色はマンセルカラーと指定しているが、施主側との確約はどのように取るか。

答弁 島袋都市計画部長 図面に明示してもらう考えである。

質問 勝連城跡環境保全ゾーンの中に墓を作る場合はどう対処するか。

答弁 島袋都市計画部長 従前より墓地が建設できない区域があり、この区域の確認等は墓地担当部署での確認となる。

質問 県道16号線ゾーンの道路境界の範囲が明確にされていないが。

答弁 島袋都市計画部長 道路境界から25mである。

質問 ユビダ地区の旧勝連町の計画

との抱き合わせはどうなるか。

答弁 島袋都市計画部長 勝連城跡歴史公園基本計画書は、本事業でも上位関連計画と位置づけており、本計画に反映させている。

質問 城下町としての景観を取り持つとの趣旨から、電線地中埋設化の計画はあるか。

答弁 島袋都市計画部長 県道16号線ゾーンは無電柱化する計画である。

二 津堅島キャロットアイランド公園の現状について

質問 公園として対応してなく、一番ひどいのが遊歩道で閉鎖状態である。現状把握について感想も交えて述べよ。

答弁 宮城建設部長 平成22年度に現場調査し、一部遊歩道を補修したが、その後も経年劣化による亀裂や土砂侵食により遊歩道が沈下し傾くなど歩行に支障があると認識している。現場によっては危険箇所への進入禁止等の立て看板を設置している。

質問 「津堅島」島おこし支援事業の施策にもあるように当公園の改修・活用

答弁 喜納企画部長 今年度中に事業担当課や地元と具体的な整備方針を検討し、平成28年度以降の整備を視野に入れた対応を予定している。

三 平敷屋旧製糖工場周辺整備について

質問 簡易的な駐車場の整備が可能か。

答弁 島袋都市計画部長 地元自治会との同意・調整を図り検討したい。



一 天願川河川の整備について
二 官製談合について

伊盛 サチ子

一 天願川河川の整備について

質問 天願川の氾濫状況等の実態調査と検証を伺う。

答弁 宮城建設部長 今年5月に検証を終えており、報告によると茶木根橋付近の氾濫の要因として、基準点である天願橋の計画流量を上回る流量に加え、天願橋下流の未整備箇所を通水断面が計画通水断面の4割から6割と狭いことから流れが悪くなり、天願川上流部の水位が上昇し、茶木根橋付近が氾濫した。また天願公民館付近の雨水幹線が天願川の水位上昇により排水不良であふれ出し、浸水被害を大きくしたと推測されている。

質問 全体的な計画を伺う。

答弁 宮城建設部長 未整備箇所が狭くなっており、そこを解決しない限り抜本的な解決にならない。先に茶木根橋付近の河床のしゅんせつを行い、断面の拡張整備を進めていく。

二 官製談合について

質問 判決ではどのようなことが明らかになったか。

答弁 赤嶺教育部長 平成27年6月8日に判決公判があり、両被告に懲役1年6月、執行猶予3年が言い渡された。公判の傍聴報告によると、高江洲幼稚園増改築工事の入札の1週間前に情報提供依頼があり、入札前日に予定価格と3つの最低制限価格を知らせ落札さ

れたこと。その他に落札に至らなかったが情報提供は10数件あったことが明らかになり、根深い癒着が指摘されている。

質問 予定価格、最低制限価格を互いに享受しており、常習的なことが認定された。官製談合は企業に関わる状況もあり、制度だけの見直しでは抜本的な解決にならないと思うが。

答弁 島袋都市計画部長 今後、判決結果が公表され、その中で調査していきたい。

質問 これまで当局が行ってきた入札で、金額が僅差で予定価格の漏えいや談合の疑いがみられる状況も出ている。こういった調査も含めて検証していくのか。

答弁 島袋都市計画部長 これまで行われてきた入札については、何ら問題ないと考えている。

質問 談合事件が大きく取り沙汰されており、今後の検証はどうしていくか。

答弁 榮野川副市長 市としても、市民に信頼される市政の確立のため、談合等の不正行為の排除を徹底していく。また公正な競争が確保されるよう、より公平・公正で透明性の高い入札制度の推進に努めていきたい。

※他に「墓地行政について」質問しました。



一 道路行政について
二 観光行政について

大城 直

一 道路行政について

質問 勝連半島南岸線一周線の進捗状況を伺う。

答弁 宮城建設部長 県中部土木事務所によると、平成25年度には基礎調査業務を終え、今年度は計画道路の概略設計を行うと聞いている。懸案となっている道路計画の二部区間の米軍提供施設内通過について、平成26年2月に沖縄県、沖縄防衛局、在日米軍及び海軍基地担当者、うるま市の4者で協議したが、具体的な方策はまだ決まっていない。市としては、今後も県中部土木事務所とともに、関係機関と調整しながら早期整備に向けて努めていきたい。

質問 市道勝連2―52号線の工期等の状況を伺う。

答弁 宮城建設部長 現在、未整備箇所の140m及び県道8号線取り付け部の改良工事を発注済みで、今後は取り付け部の工事の進捗状況を見ながら、道路照明灯設置工事を発注する予定。事業完了は平成28年1月末を予定している。

質問 過去の自治会からの舗装要請等で棚上げとなっている件はないか。

答弁 宮城建設部長 平成17年度から平成26年度までの63自治会からの補修要請は累計1296カ所あり、そのうち16カ所が未補修となっている。

質問 近年、自治会からの要請は何箇所あるか。

答弁 宮城建設部長 平成27年6月現在、過年度箇所も含め20カ所の要請があり、補修作業に鋭意努めている。

二 観光行政について

質問 観光に携わる方々を一堂に会して、今後の体験型観光に向けての方向性を確認する意味でも円卓会議が必要である。行政がリードしての円卓会議が可能か伺う。

答弁 上間経済部長 素通り観光からの脱却については、市全体の課題として、これまでもいろいろな形で検討されている。円卓会議という形にとられず行政、観光物産協会、事業者、市民が協働してこの課題に取り組んでいくことが必要と考えている。

質問 津堅島の慰霊碑に刻銘がない。行政の助成等は可能か伺う。

答弁 上門市民部長 行政による慰霊碑への刻銘の補助は、今のところ考えていない。

質問 観光資源の一つと捉えて宜野湾市からうるま市までのヨットレースを企画できないか。

答弁 上間経済部長 今のところ直接関連する施策はないが、うるま市観光振興ビジョンの次期計画を策定する中で議論ができればと考えている。



- 一 うるま市歌とうるま市音頭について
- 二 平和行政について
- 三 マイナンバー制度について
- 四 農業振興について
- 五 絵本の里(宮城島)設置について
- 六 こども議会について

ひが 敦子
比嘉 敦子



- 一 道路行政について
- 二 信号機設置について
- 三 教育施設について

きんしょう 金城 加奈栄

一 うるま市歌とうるま市音頭について

質問 市歌と市民音頭をもっと身近なものにし、日常生活に活かしていくことができないか。

答弁 喜納企画部長 合併10周年記念事業やさまざまな機会を捉えて、市民に広くアピールをしていきたい。

二 平和行政について

質問 市内の戦争遺跡は81カ所あるが、説明板がある遺跡は何箇所か。

答弁 赤嶺教育部長 説明板や標柱等は現在7カ所に設置している。

質問 石川庁舎の跡利用として平和資料館としての活用を強く訴えたいが、市の見解を伺う。

答弁 天願総務部長 公共施設等マネジメント庁内検討委員会及び作業部会で協議を重ね、各庁舎跡利用の方向性、手法等について決定し、具体的な庁舎跡利用を進めていきたいと考えているが、議員提言の件は作業部会に報告したい。

三 マイナンバー制度について

質問 マイナンバー制度について伺う。

答弁 天願総務部長 行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現に向けて、マイナンバー法が平成25年5月31日に公布され、平成27年10月にすべての国民にマイナンバーが付番・通知される。マイナンバーの利用開始は平成28年1月から始まる。

四 農業振興について

質問 うるま市農業振興ビジョンの策

定について伺う。

答弁 上間経済部長 平成27年度に生産農家アンケート調査、農業関係団体等の意向調査、地域ごとにワークショップを開催し、農業の現状と課題を洗い出し、平成28年度に本編を策定する予定である。

質問 農業委員会だよりを発行してはどうか。

答弁 桑江農業委員会事務局長 農業委員による「見える化運動」の一環として、うるま市農業委員会新聞第1号の発刊計画を決定している。

五 絵本の里(宮城島)設置について

質問 宮城島に絵本の里として、学校の跡地に図書館の設置ができないか。

答弁 喜納企画部長 うるま市島しょ地域学校跡地・跡施設活用方針を今年3月に策定し、提言の絵本の里については、活用方針の中で想定していない。

六 こども議会について

質問 現在の取り組み状況について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 本年度はうるま市が誕生して10周年の節目を迎え、その記念事業のひとつとしてこども議会を位置づけ、平成20年度、平成24年度に続き、平成27年度事業として8月21日開催に向け、関係課で業務調整を行い準備を進めている。現在、市内中学校10校に2人ないし3人、計25人の選出を依頼している。

一 道路行政について

質問 川田交差点付近は、朝夕と交通量が多く、信号待ちしている視覚障がい者の方も見受けられる。安全上、交差点付近への点字ブロックの設置が必要と思うが、市から県へ要請できないか。

答弁 宮城建設部長 現在、横断歩道付近に点字ブロックは設置されておらず、身障者の通行及び横断には、議員指摘のとおり大変危険な状況であると認識している。当該交差点への点字ブロックの設置要請を県道管理者である県中部土木事務所に要請していきたいと考えている。

質問 前原高校前正門付近の歩道に設置されている反射板(ポール)の取り替えについて伺う。

答弁 宮城建設部長 現場状況を確認したところ、歩道に設置されている車両進入防止のための車止めの夜行性塗料が消えかけている状況で、夜間、歩行者が気づかず衝突する可能性があると考えられるので、県道管理者である県中部土木事務所へ車両進入防止の車止めに夜光塗料などの塗布補修や点滅式反射灯への取り替えを提案し、要請していきたいと考えている。

二 信号機設置について

質問 県道8号線、川崎方面から安慶

名方向へ行く信号機の向きの変更ができないか。

答弁 上門市民部長 信号機の向きの変更について、うるま警察署に確認したところ、信号機の見誤りを防ぐため、安全対策として信号機を同じ方向にしており、現状の状況が望ましいとの回答を受けた。今後、状況を見極めながら、うるま警察署との連携を図ってきたい。

三 教育施設について

質問 具志川総合体育館の天井から大雨による雨漏りが数カ所あり、早目の修繕が必要と思うが、見解を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 具志川総合体育館は、大雨時に議員案内のとおり、一部に雨漏りがあるが、量的に多いものではなく、スタッフで屋上の防水塗装作業を行い、雨漏りは止まっている状況である。今のところ、施設利用に際して、特に大きな支障を来すような状況ではないが、今後も定期的に防水塗装等の措置を行いながら、経過を観察していきたいと考えており、引き続き良好な環境の提供に努めていきたいと考えている。

※他に「建設行政について」「港湾の維持管理について」質問しました。



伊波 洋
いば ひろし

- 一 マネジメント計画について
- 二 コミュニティバスについて
- 三 文化観光拠点整備基本計画について
- 四 補助金団体について

一 マネジメント計画について

質問 統合庁舎完成後の市民窓口業務の今後の予定を伺う。

答弁 天願総務部長 支所窓口は市民課、福祉、国民健康保険、納税窓口を統合した新たな窓口での取り扱い業務等を決定したいと考えている。

質問 3庁舎の跡利用について伺う。

答弁 天願総務部長 現在、公共施設等マネジメント庁内検討委員会及び作業部会で庁舎に関連する課題の解決に取り組んでおり、今後は各庁舎跡利用の方向性、手法、所管部署を決定し、具体的に進めていく。

二 コミュニティバスについて

質問 実証実験の検証を踏まえた運行計画を予定しているのか。

答弁 喜納企画部長 新年度から公共施設間連絡バスとして具志川石川線と具志川与勝線の車両を2台に増やした運行を予定している。

質問 沖縄市や読谷村のような市内循環バスの運行は可能か。

答弁 喜納企画部長 同様なバスの運行は厳しい。

三 文化観光拠点整備基本計画について

質問 当初の概算予算を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 一括交付金を財源とした約50億円を想定。

質問 変電所移転に伴う21億円の内訳を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 概算移設費用の内訳は、送電設備3億6000万円、変電設備15億6000万円、配電設備2億1000万円である。

質問 この事業は費用対効果の検証

が必要ではないか。

答弁 島袋都市計画部長 今後、施設整備に伴う経済効果も踏まえて検証していく。

四 補助金団体について

質問 社会福祉協議会の事業に対する人件費の割合が高いが、当局は把握しているか。

答弁 山城福祉部長 補助金審査委員会から指摘を受けて認識している。平成25年度より指導監査を実施しており、適正な法人運営や社会福祉事業の経営について指導・助言している。

質問 補助金制度改革の見直しも必要と思うが所見を伺う。

答弁 山城福祉部長 補助金審査委員会の指摘を踏まえ、補助金見直しの文書を通じた。将来的な定員管理計画の策定、職員の異動や採用に係る市との事前協議、補助率や補助額の見直しに係る自主財源の確保やコスト面での意識改革など指導・助言を行っている。

質問 シルバー人材センターは3億円の事業実績があるが、補助金が減らない経緯を伺う。

答弁 上間経済部長 平成26年度は補助金を9.4%減額したが、同センターの担う役割の重要性と運営状況及び他市町村の動向等を総合的に考慮した上で、平成27年度は前年度同額の予算措置となっている。

※他に「行政改革について」「津堅島離島振興政策について」質問しました。



金城 勝正
きんじょう かつまさ

一 具志川小学校の防球ネット設置事業に関連する事項について

質問 工事内容と施工時期を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 工事内容は、高さ12m、長さ144mの防球ネット設置一式及び高さ6m、長さ16mのバックネット設置一式で、本体工事は学校教育活動に支障のないよう夏休み期間中の完了を予定している。

二 具志川ビーチ護岸損壊部分の改修に関連する事項について

質問 県中部土木事務所に早急な対応をお願いできないか。

答弁 宮城建設部長 海岸管理者である県中部土木事務所へ石積み護岸改修工事を早急に対応してもらいうように、要請していきたい。

三 具志川城跡「ブスコ」の戦跡としての位置付けと整備に関連する事項について

質問 具志川グスクのような戦跡等については、平和社会希求の原点として文化財の指定をして、しっかりとした位置づけのもとに次世代へ継承していくべきものと考えているか。

答弁 赤嶺教育部長 戦争遺跡は後世に平和や命の尊さを伝える重要な遺跡であると認識している。具志川グスクの壕については、地元具志川区と連絡調整や市文化財保護審議会の意見を伺いながら、文化財指定が可能か検討していきたい。

四 自治会運営振興補助金に関連する事項について

質問 自治会行政の改善に應えるべく、増額要請に前向きな対応ができるか。

答弁 上門市民部長 今後、関係部署と調整を図りながら検討していきたい。

質問 ほかにメニューに加えて臨機応変に対応できる補助金を設けてはどうか。また、この際、使い勝手のいい制度にしてはどうかと考えるか。

答弁 上門市民部長 提言のうるま市自治会運営振興補助金に他の項目を追加することができないか。また、新たな補助のあり方等も含め、今後、関係部署と調整を行い検討したい。

く、増額要請に前向きな対応ができるか。

答弁 上門市民部長 今後、関係部署と調整を図りながら検討していきたい。

質問 ほかにメニューに加えて臨機応変に対応できる補助金を設けてはどうか。また、この際、使い勝手のいい制度にしてはどうかと考えるか。

答弁 上門市民部長 提言のうるま市自治会運営振興補助金に他の項目を追加することができないか。また、新たな補助のあり方等も含め、今後、関係部署と調整を行い検討したい。

五 うるま市成人式に関連する事項について

質問 DVDや記念写真を贈呈している自治体もあり、今後に向けての検討の余地はあると考えるか。

答弁 赤嶺教育部長 本市においても廃止に至った経緯も踏まえ、予算の問題、必要性、新成人者との意見交換等、いろいろ検証する課題等があるため、議員から指摘のある記念品の贈呈に関しては検討課題としたい。

質問 若者たちの将来に心を砕く島袋市長においては、毎回どのようにお祝いと激励の意を伝えようかと苦心していると思うが、最後に首長としての思いを伺う。

答弁 島袋市長 成人式についての貴重な意見・提言を賜り、感謝を申し上げ、今後の参考にさせていただきたい。



- 一 基地問題について
- 二 闘牛博物館設置について
- 三 具志川野外レクリエーションセンターのその後について

荻堂 盛仁
おきどう せいじん

一 基地問題について

質問 沖縄県は終戦以来、基地に関連する問題に振り回され続けてきた。施政方針に取り組み市長の決意を伺う。

答弁 島袋市長 米軍基地に対する基本的なスタンスは基地の整理縮小で、過重な米軍基地負担の軽減等は日米地位協定の抜本的見直しなくして改善はないと考えており、関係機関と連携を図りながら日米両政府にも訴えてきた。今後も市民の安全・安心な生活環境を守る行政の長として、基地問題への対応にはしっかりと取り組んでいく所存である。

質問 現在までに起きた基地関連による事件・事故の件数と種類を伺う。

答弁 喜納企画部長 航空機に関する事件・事故が25件。施設等の管理に関することが30件。交通事故、酒気帯び運転等が38件。その他事件等が76件である。

質問 合併後の爆音による苦情の件数と対策、騒音測定の結果を伺う。

答弁 喜納企画部長 航空機騒音に対する苦情は268件。苦情の対応は、苦情等の内容を文面にして、沖縄防衛局を通して米軍に申し入れている。昨年度の年間の騒音発生回数は、市役所本庁1950回、市民芸術劇場1281回、与勝中学校2586回である。

質問 第三次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団の約半数をうるま市が占め

ていることに関して、市はどう考えているか。

答弁 喜納企画部長 10374人のうるま市民が訴訟団への参加については、重く受けとめている。

質問 夜間飛行の差し止めと地域補償を求めるべきではないか。

答弁 喜納企画部長 行政として今後どのように対応していけるか調査・研究していきたい。

質問 闘牛博物館設置について

答弁 喜納企画部長 次期観光振興ビジョン策定の中で、闘牛博物館の整備については、具体的な施策として示していきたい。

三 具志川野外レクリエーションセンターのその後について

質問 市として代替施設を整備し、お年寄りの生きがいづくりなどを図る必要があると思うが、福祉政策の一環として取り組めないか。

答弁 上間経済部長 当該施設の廃止に際して、敷地島開発計画のハード施策事業が代替機能として位置づけられている。第二次総合計画や第二次観光振興ビジョンなどで調整を図りながら、具体的なロードマップの作成を行っていききたい。



- 一 県道37号線の道路改修について
- 二 世界遺産勝連城跡の周辺環境整備について
- 三 基地問題について

東浜 光雄
ひがしはま みつお

一 県道37号線の道路改修について

質問 県道37号線・照間交差点付近から海中道路入口までの間の車道に陥没しているところが数カ所あり、道路事情が悪く危険な状態にあるが。

答弁 宮城建設部長 県中部土木事務所へ早急な改修工事を要請していきたい。

二 世界遺産勝連城跡の周辺環境整備について

質問 採石場については、景観のみならず、環境の面からも勝連城跡にふさわしくない現状にある。早急に事業者と協議をして一日も早く移転を進めてもらいたい。

答弁 島袋都市計画部長 平成28年度から移転交渉できるように考えている。

三 基地問題について

質問 辺野古に新たな基地が建設されようとしているが、市長は現状をどのように認識しているのか。

答弁 島袋市長 市長の行政権限は他市町村に及ぶものではない。

質問 現在、辺野古に建設されようとしている基地は普天間にならない新たな機能が加わり、まさに新たな基地の建設です。現在の辺野古の現状を鑑みるときに、市長の米軍基地に対するスタンス、新たな基地は要らないという姿勢を市内外にアピールす

べきだと考えるが。

答弁 島袋市長 私の姿勢は議会中継、インターネット、マスコミのアンケート等を通して公開されており、広く周知されている。

質問 昨年の名護市長選挙、県知事選挙、衆議院選挙で辺野古基地NOを訴えた候補者全員が当選したことは、辺野古に新たな基地はつくられないという県民の意思がはっきり示された選挙だったと思う。政治は民意に沿って行われるべきものであり、本市においても民意に沿う形で「うるま市民会議」を立ち上げて阻止行動へ参加すべきと考えるが。

答弁 島袋市長 うるま市長としての権限は、うるま市の課題、政策に関することであり、他市町村の決定まで言及するつもりはない。また、市民の民意が確認されていない。県知事選挙の結果がうるま市の民意でしよ

うか。うるま市にも市民会議が立ち上がっている。その会議への市民の関心の高さ。執行権者を決める市長に対する民意の反映。議会構成員に対する民意の反映。議会の動向も市民の動向も加味しながら、最終的に判断をしていきたい。

※他に「海中道路入口東側海域の悪臭対策について」質問しました。



- 一 行政相談員の推薦について
- 二 津堅島の振興について
- 三 職員の数削減について
- 四 官製談合について
- 五 入札制度の改革について

なかま よしとく
名嘉眞 宜徳

一 行政相談員の推薦について

質問 行政相談員の仕事内容と推薦に至るまでの手順を伺う。

答弁 上門市民部長 行政機関等の業務に関する苦情や要望等を地域住民から受け、必要な助言等で解決の促進を図るための相談業務である。推薦の手順は、総務省沖縄行政評価事務所から依頼を受け、市町村は同事務所の示す選考基準に合致する人物を選考し、同事務所と事前に協議した上で正式に推薦する。

二 津堅島の振興について

質問 中学校の学習支援員の配置を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 1名の配置を計画しているが希望者がなく、現在まで配置できていない。

質問 免許外教科担任の解消の考えを伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 毎年、県に要望しており、今後も引き続き要望していく。

質問 一番手っ取り早いのは時間講師と思うが。

答弁 嘉手苅指導部長 市単独での非常勤講師の配置は厳しい。

三 職員の数削減について

質問 嘱託職員と臨時職員の推移を伺う。

答弁 天願総務部長 平成17年度が447人、平成27年度が928人である。

質問 嘱託職員の大増の理由を伺う。

答弁 天願総務部長 一括交付金などの事業量の増加や福祉関係の専門職の増加などが原因と考える。

四 官製談合について

質問 談合事件による市の損失を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 具体的な損失の把握には至っていない。

質問 談合グループを把握しているか。

答弁 島袋都市計画部長 把握していない。

質問 徹底した調査・追及の指示はトップから出すべきである。調査できないか。

答弁 榮野川副市長 裁判の中でも特に触れられていない。本市の入札はこれまで一定の規定に基づいてなされており、特に問題はないと思うが、今後議員の指摘についても過去の経緯等々をみながら、検証できるか検討していく。

質問 冲信建設と元職員に対して賠償を求める考えがあるか。

答弁 赤嶺教育部長 当該職員は懲戒免職で社会的制裁も受けており、新たに損害賠償請求ができるか弁護士と相談し検討したい。業者は約2139万円の違約金を請求している。

五 入札制度の改革について

質問 検証の中で何が一番問題だったか。

答弁 島袋都市計画部長 裁判で明らかになったように業者が予定価格や最低制限価格の情報を得ようとしたことや、元職員が法令遵守の意識が欠落し情報提供を行ったこと。

質問 公正・公平な指名をするための施策を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 市内業者優先を基本としつつも、市外業者の指名も必要と認識しており、この件も含めて現在検討中である。



- 一 合併の検証について
- 二 屋敷名土地区画整理事業について
- 三 津堅島の振興について
- 四 高額な医療費の助成制度について
- 五 統合庁舎建設事業について

ながたま えい
永玉榮 靖

一 合併の検証について

質問 合併特例債の旧2市2町の現在の配分事業執行額を伺う。

答弁 喜納企画部長 具志川地区119億5869万円で42.34%、石川地区が61億880万円で21.63%、勝連地区が24億5853万円で8.71%、与那城地区が11億4177万円で4.04%である。

二 屋敷名土地区画整理事業について

質問 助成条例からみた屋敷名地区の適用範囲について伺う。

答弁 島袋都市計画部長 うるま市土地区画整理組合助成条例第2条及び同条例施行規則第2条の適用範囲となっている。

質問 公共施設管理者負担金制度を導入し、早急な対応と補正予算で助成措置ができないか。

答弁 島袋市長 公的な資金の導入も含めて、担当部署と関係部署で詰めており、私の判断すべき事柄があれば経過を見ながら逐次支援していきたい。

三 津堅島の振興について

質問 青年会や子ども会などが派遣遠征する場合の助成費用は今後どう考えているか。

答弁 喜納企画部長 今後、地方創生に関する新たな事業や地域の要望に取り組んでいき島の振興につなげていきたい。

四 焼却炉等の設置について伺う。

質問 焼却炉等の設置について伺う。

四 高額な医療費の助成制度について

質問 全ての肝炎患者が医療費の助成を受けられる制度の創設を望むが、市の対応を伺う。

答弁 上門市民部長 肝炎対策には、さまざまな課題があり、今後は国・県及び他市町村の動向を注視し、適切な対応を図っていきたい。

五 統合庁舎建設事業について

質問 事故繰越の承認通知の内容説明を。

答弁 天願総務部長 地方自治法第230条第3項の規定による避けがたい事故のため、うるま市予算規則第21条第1項の規定により事故繰越調書の提出があり、同規則第21条第2項の規定を踏まえ市長承認を受け、規定に基づき通知することの内容。

質問 事故繰越書の市長承認の通知は地方自治法第230条第3項で間違いないか。

答弁 天願総務部長 通知書は記述ミスで、正しくは地方自治法第220条第3項である。

質問 事故繰越ができる法的根拠を伺う。

答弁 天願総務部長 東日本大震災以降、資材高騰や人手不足が工期が延びる要因との指摘があり、それを準用して事故繰越をした。

質問 やはり地方自治法第220条第3項に該当しないと考えるが。

答弁 喜納企画部長 この要件は財務省の繰越ガイドブックに沿って手続しており、理由がそれに準拠することとで、所定の手続をとり事故繰越をした。



- 一 うるま市職員雇用環境について
- 二 ヌーリ川公園について
- 三 財政計画について
- 四 保育環境について
- 五 教育関係について

なかむら
中村 正人

質問 職員数・臨時職員数・嘱託職員数を伺う。

答弁 天願総務部長 平成27年4月1日時点で職員数842人、臨時職員数385人、嘱託職員数543人である。

質問 職員残業内容について各部各課の内容及び年次有給休暇の内容について伺う。

答弁 天願総務部長 各課一人当たりの月平均で残業時間20時間以上30時間未満は市民税課・商工観光課・企業立地雇用推進課。年次有給休暇の一人当たりの執行率は多いところで77%、少ないところで13%、全体平均で32%である。年次休暇の取得率の高い課で監査事務局77.6%、低い課で会計課の13.4%である。

質問 ヌーリ川公園について

答弁 島袋都市計画部長 平成23年度スタートし、平成27年度用地及び補償交渉に取り組み用地で62.5%、物件で89.5%であり、平成28年度には完了予定。事業の変更で28年度実施設計・29年度から造成工事に着手し、平成34年度供用開始である。

質問 三 財政計画について

答弁 基金の活用方法について伺う。
答弁 喜納企画部長 一般会計の積立基金は11種類あり、財政調整基金は年度間の財政調整を図る。減債基金は市債の償還に充てる。地域振興基

金は地域の振興でこどもゆめ基金は子育て支援施設に充当する。地域福祉基金は地域の特性を生かした在宅福祉の向上を図る。

質問 認可外保育園の共働き世帯について伺う。

答弁 山城福祉部長 うるま市内の30施設で27年4月時点で1510人の児童が認可外保育園に通っている。世帯数で1222世帯、共働き世帯で837世帯、母子・父子家庭世帯が102世帯である。

質問 認可保育園の共働き世帯数を伺う。

答弁 山城福祉部長 平成27年4月1日現在で2848人、世帯数で2149世帯。そのうち共働き世帯が1859世帯で母子・父子家庭世帯が290世帯である。

質問 認可外保育園の共働き世帯及び母子・父子世帯939世帯の受入れにあと10力園の整備の必要性があるか伺う。

答弁 山城福祉部長 こどもゆめ基金等の活用を行い29年度から31年度までに待機児童の解消を図っていきたい。

質問 五 教育関係について

質問 学力向上のための拠点校について伺う。
答弁 嘉手苅指導部長 平成27年度うるま市指導行政プロジェクトの中で拠点校を指定し、学力向上を目指している。



- 一 戦没者の慰霊について
- 二 環境行政について
- 三 道路行政について
- 四 畜産振興について

こうち
幸地 政和

質問 戦没者の慰霊について

質問 石川聖魂の塔整備計画について、築58年を考えた場合、既に建て替えるの時期に来ている。整備計画の方針を伺う。

答弁 上門市民部長 修繕工事ではないのか、建て替えるか調整を図っていききたい。

質問 第二次世界大戦で犠牲になった旧石川市の犠牲者の実態について伺う。

答弁 上門市民部長 犠牲になった方は1305人である。

質問 石川遺族会は1305人の刻銘表示を心から望んでいる。聖魂の塔に戦没者刻銘表示を設置する必要性について伺う。

答弁 上門市民部長 塔の修繕等を含め刻銘について調整を図っていききたい。

質問 石川戦没者慰霊祭は継続しているか伺う。

答弁 上門市民部長 当面は現在の形で継続していきたい。

質問 二 環境行政について

質問 楚南地区に設置された大小屋とフェンスについて、現行法令に抵触する可能性がある根拠法令を伺う。

答弁 上間経済部長 農業振興地域の整備に関する法律に抵触している。

答弁 宮城建設部長 うるま市法定外公共物管理条例に抵触している。

答弁 上門市民部長 抵触する根拠法令について、狂犬病予防法、うるま市飼犬条例、動物の愛護及び管理に関する法律にうたわれている。

質問 解決の方策について伺う。

答弁 上間経済部長 農地法、農地法違反事例要領に沿って対処していきたい。

答弁 宮城建設部長 里道の測量をして占拠の事実確認後に撤去させていききたい。

質問 三 道路行政について

質問 石川市道3号線実施計画について、この路線を整備する概算事業費の見積額を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 概算事業費は約6億円程度になる。

質問 石川市道3号線の道路整備事業を実施計画に入れ、事業推進を図ってもらいたい意向が地域の要望であるか。

答弁 島袋都市計画部長 地域の要望を総合的に勘案し検討する。

質問 四 畜産振興について

質問 家畜共済加入と家畜共済事故の現状について伺う。

答弁 上間経済部長 市の加入組合数156人、加入頭数5538頭、死亡廃棄181頭、病傷事故件数2000件、共済金約3330万円である。

質問 本市及び沖縄県の畜産振興及び農家の生産意欲と所得向上を図るため、沖縄県農業共済組合の獣医師の強化体制と定足数の増加を図ることは重要であり、要請行動する必要があるか、見解を伺う。

答弁 上間経済部長 中部市町村と連携を図りながら関係機関への要請を含め改善に向け検討していきたい。



- 一 台風災害対応について
- 二 道路行政について
- 三 市民サービスについて
- 四 教育行政について
- 五 津堅島振興について
- 六 うるま市総合計画について

みやぎ
宮城
かずとし
一寿

一 台風災害対応について

質問 台風6号に対する当局の対応について伺う。

答弁 宮城建設部長 過去に浜区や平安座区で起きた浸水被害を念頭に置き、浸水被害のおそれのある箇所に土のう等を設置し、排水溝の詰りや倒木の除去を行っている。

二 道路行政について

質問 浜比嘉大橋向けの信号機はいつつ点灯するのか伺う。

答弁 宮城建設部長 当該交差点にコンビニの店があり、交差点の改良が必要な為、県警察本部交通部交通規制課と信号機設置について協議中である。

質問 字具志川162番地付近の側溝蓋設置について伺う。

答弁 宮城建設部長 側溝蓋が無い箇所があり、市道の維持管理状況を見ながら設置する。

質問 田場交差点から具志川火力発電所向け道路に歩道設置計画はあるか伺う。

答弁 宮城建設部長 市道赤野港原線の開通で交通量も増えていることから、歩行者の安全対策を検討する。

三 市民サービスについて

質問 新庁舎建設に伴う各支所の窓口業務について伺う。

答弁 天願総務部長 現状の窓口業務を継承するよう調整中である。

四 教育行政について

質問 具志川小学校職員室のカーペット取り替えについて補修依頼があったかどうか伺う。

答弁 赤嶺教育部長 具志川小学校から修繕要望がでており、夏休み期間中での対応が可能か学校側と協議する。

五 津堅島振興について

質問 中城港湾(アギ浜地区)の高波浸水被害について伺う。

答弁 宮城建設部長 台風などの高波により漁船が流されたり、ふ頭が浸食されている状況である。防波堤のかさ上げや潮の流れを良くする対策、ふ頭用地の侵食対策としてのコンクリート舗装等、自治会とともに、港湾管理者である県中部土木事務所へ整備要請をしたい。

六 うるま市総合計画について

質問 平成19年策定5年計画は検証したか。また、29年度からの10年計画策定の取り組みは。

答弁 喜納企画部長 基本事業の評価検証を行い、A評価・B評価が7割程度を占め、一定の目標は達成できた。今後の10年間の計画については、市民アンケートや各種団体へのヒアリング等を実施し、成案として取りまとめる。



- 一 都市計画について
- 二 道路行政について

い
伊波
よし
良明
あき

一 都市計画について

質問 旧石川浄水場跡地への大型店舗進出について見解を伺う。

答弁 上間経済部長 一月に県内民間企業から商業施設を立地したい旨の申し入れが県企業局にあり、本市で公募選定し、契約相手先を推薦してほしいとの依頼があった。石川地域の活性化に寄与できるよう調整を進めている。

質問 今後のスケジュールと経済部長の意気込みを伺う。

答弁 上間経済部長 8月に公募、9月中には選定し県企業局へ推薦予定。地域の活性化と雇用の拡大など産業振興とまちづくりに大いに寄与するとの考えから市を挙げて対応したい。

質問 近隣商業地域への用途地域変更の取り組み状況を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 現在は第一種住居地域で大型店舗が立地できないので県企業局と現在調整中。来年度中には変更する。

質問 確認申請の受理可能時期を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 平成29年1月頃を予定。

質問 国道329号石川バイパス沿いへの大型店舗等進出の有無や都市計画について伺う。

答弁 上間経済部長 市総合計画・都市計画マスタープランとの整合性や農業振興地域特定用途制限区域など

どの周辺土地利用規制等を勘案し検討中。農業振興地域における土地利用は、法第8条の規定に基づく農用地区域に指定され、農地を維持保全する制度のため厳しい状況である。

質問 第一種農地に指定された時期、見直しの時期を伺う。

答弁 桑江農業委員会事務局長 昭和47年の復帰後に農地法が適用された。平成21年農地法を一部改正し、より厳しい状況となった。

二 道路行政について

質問 旧浄水場と石川中学校の間を通る道路と、石川34号線(外人住宅通り)を国道で十字路にする提案への見解を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 提案の方法は安全面や渋滞緩和から有効であり今後調整する。

質問 石川34号線と県道75号線の交差点(美原ゴルフ練習場)において美原方面から昆布方面への左折道路の設置案への見解を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 費用対効果の検証や技術的な検証、また道路管理者の県中部土木事務所との協議など総合的に判断したい。

質問 伊波15号線(伊波城跡通り)の整備について伺う。

答弁 宮城建設部長 道路整備は厳しいが、当面は雨水対策やアスファルト舗装の亀裂等の修繕で対応したい。



- 一 消防業務及び組織体制について
 - 二 各地域防犯灯について
 - 三 幼児教育と待機児童について
 - 四 戦争遺産について
 - 五 いのちの電話相談員養成について
 - 六 兼箇段公民館に隣接する農道の安全対策について
- きやん 喜屋武 力 つとむ

一 消防業務及び組織体制について

質問 AEDの設置場所を市民は把握しているか。

答弁 照屋消防長 公共施設、大型店舗など104カ所に設置されており、周知方法は引き続きホームページの掲載や今後は広報紙の活用を考えている。

質問 各公民館にAEDの設置ができないか。

答弁 上門市民部長 自治会への意向調査を踏まえ検討したい。

質問 消防職員の年休消化の現状を伺う。

答弁 照屋消防長 消防業務の特殊性から要求する全ての職員への休暇は厳しい。

二 各地域防犯灯について

質問 LEDの照らす範囲が狭く暗い。改良が必要ではないか。

答弁 上門市民部長 各自治会への状況調査を行い、結果を踏まえ対応していく。

三 幼児教育と待機児童について

質問 子ども子育て支援新制度移行により5歳児の保育問題が深刻である。当局の見解を伺う。

答弁 山城福祉部長 昨年度から教育委員会と連携し、幼稚園での預かり保育や5歳児保育の充実を図っている。保護者への説明会を実施し不安解消に努めていく。

質問 現場の保育士・幼稚園教諭の不足が生じ、認可外保育園の運営に支障を来している。国に地方の声を上げられないか。

答弁 山城福祉部長 県や多市町村と連携し、課題を整理し検討したい。

四 戦争遺産について

質問 大田区の旧日本軍大砲陣地が都市開発で跡形もない。戦争遺跡として残すべきではないか。

答弁 赤嶺教育部長 一帯の開発行為で場所が特定できない。現在、建築確認申請の際に埋蔵文化財包蔵地等の確認書を提出してもらい、文化財の保護に努めている。

五 いのちの電話相談員養成について

質問 沖縄県の自殺者が増加している。本市の対応と自殺者数を伺う。

答弁 上門市民部長 市民生活課では債務整理等の専門相談員を配置し、問題解決を図っている。健康支援下では臨床心理士による「心の健康相談」を実施している。自殺者数は平成25年度18人、26年度21人である。

答弁 山城福祉部長 心の病気の予防対策の観点から、さまざまな分野の関係機関と連携して取り組み、自殺予防対策に努めたい。

質問 いのちの電話相談員の育成を要望するが。

答弁 上門市民部長 今後も従来の自殺対策に努め、運営団体の意見を伺い協力・連携し対応を図っていく。

六 兼箇段公民館に隣接する農道の安全対策について

質問 安全対策として擁壁を設置できないか。

答弁 上門経済部長 地権者や耕作者からの圃場整備要請等があれば検討したい。

※他に「南風原地区の景観条例について」質問しました。



- 一 土木行政について
 - 二 教育行政について
 - 三 都市計画行政について
 - 四 市民生活課に関する事項について
- きやん 喜屋武 正伸 しゅうしん

一 土木行政について

質問 前原自治会地域の路面水滞留箇所の改善について進捗状況を伺う。

答弁 宮城建設部長 大型排水路へつなく雨水処理を検討している。来月8月中に施工を予定しています。

二 教育行政について

質問 全国学力・学習状況調査の趣旨について伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 個々の子供の潜在能力を引きだし、必要な力をつける取り組みが目的である。調査結果を基に学習指導の改善に役立て、児童・生徒の学力を伸ばしていくことが重要であると考える。

質問 市としては学力テストの結果を受け、どのような取り組みを行っているか伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 全国の平均点と比較し、どのような違いがあるのかを把握し、児童・生徒の実態を踏まえ、成果と課題を検証し、授業を通し課題の改善に取り組んでいる。

質問 スマートフォンを持つ児童生徒の数を把握しているか。また、持ち与える前に専門家による利用に関して講話等の対策が必要と考えるが所見を伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 児童生徒に対して各学校では児童生徒による市内の小中学校で実施予定である。

三 都市計画行政について

質問 塩屋区自治会の公園の整備計画について伺う。

答弁 島袋都市計画部長 財政状況や他事業との関連など勘案の上、調整を図りたいと考えている。

四 市民生活課に関する事項について

質問 自治振興について、地域からの要望等のアンケート調査を行い、合併10周年記念に要望に込めることができるか伺う。

答弁 上門市民部長 地域振興のため関係部署との調整を図っていきたい。

※他に「下水道行政について」質問しました。



- 一 与那城西原地区農業基盤整備事業に伴う農道整備について
 - 二 うるま市附属機関等の現状と課題について
 - 三 うるま市ボランティア推進の取り組みについて
 - 四 「マイナンバー制度」導入へ向けての取り組みについて
 - 五 「18歳選挙権」の意義とこれからの取り組みについて
 - 六 「うるま市総合計画後期基本計画」に基づくうるま市の教育施策の現状について
- さく だ
佐 久 田
く だ
悟

一 与那城西原地区農業基盤整備事業に伴う農道整備について

質問 与那城西原地区の農道整備計画について伺う。

答弁 上間建設部長 前年度からの面補修及び舗装整備工事を引き続き実施し西原地区は今年度、屋慶名地区は次年度を予定している。

二 うるま市附属機関等の現状と課題について

質問 うるま市附属機関等の簡素化、効率性を踏まえ見直しや統合も検討すべきでは。

答弁 天願総務部長 必要性の見直し、検討は非常に重要な視点であり、統廃合することにより効果的・効率的行政運営が図られるよう検討する。

三 うるま市ボランティア推進の取り組みと現状について

質問 ボランティア人材リスト等を作成し多様な地域の人材の活力を引き出すネットワーク作りも必要では。

答弁 山城福祉部長 ネットワーク作りは重要だと認識しており、市社会福祉協議会と連携し活動促進を図りたい。

四 「マイナンバー制度」導入へ向けてのこれからの取り組みについて

質問 マイナンバー制度導入に向けて市民カードや図書館カード等との一体化への取り組みについて。

答弁 天願総務部長 コンビニ交付事業導入や図書館カード、乳幼児医療等市民の利便性向上へ向け早い時期に取り組みたい。

五 「18歳選挙権」の意義とこれからの取り組みと課題について

質問 18歳選挙権施行に伴い、若い世代の投票率向上に向けた市独自の広報活動の取り組みは。

答弁 親田選挙管理委員会事務局長 啓発ポスターコンクールや県内青年リーダー研修等へ積極的に参加を促し、選挙や政治への関心を持たせる取り組みを推進していく。

質問 教育現場で中立公正な立場での政治教育、主権者教育にどのように取り組んでいくのか。

答弁 嘉手苅指導部長 各学校の教職員が政治的中立公正を再認識し、子供たちが自らの意思で投票し良識ある公民として社会参画できるように指導支援したい。

六 「うるま市総合計画後期基本計画」に基づくうるま市の教育施策の現状について

質問 合併して10年これまでの教育施策を踏まえ学力向上、いじめや不登校、校内暴力等への取り組みについて。

答弁 嘉手苅指導部長 小学校では平成17年度と比べると学力は着実に伸びている。中学校はまだ課題があり一層力を入れて取り組んでいく。学校にはいじめの認知を積極的に行う指導助言し、迅速な取り組みを重視している。校内暴力等問題行動には各中学校区生徒指導連絡協議会の推進、スクールソーシャルワーカー等支援員、各自治会等、地域の力を積極的に学校現場に導入し保護者、家庭の見守りを行い、児童生徒たちの支援に取り組みたい。



- 一 あやはし海中ロードレースについて
 - 二 男女混合名簿導入について
 - 三 道路整備及び信号機設置について
 - 四 保育・子育て問題について
- また よし
又 吉
の り ひさ
法 尚

一 あやはし海中ロードレースについて

質問 与那城総合公園多種目球技場グラウンド内を臨時駐車場として一時的に開放する考えはないか。

答弁 上間経済部長 多種目球技場グラウンドの開放は厳しいが、今後も周辺地域での駐車スペースの確保に努め、多くのランナーが参加しやすい大会運営に努めていきたい。

質問 在庫となったTシャツの再利用方法は決まっているか。

答弁 上間経済部長 大会申し込み期間並びに大会期間中に1着500円で販売している。

質問 県外に沖縄代表として出場するスポーツ・文化各種団体にTシャツを無料もしくは格安で配布ができないか。

答弁 上間経済部長 議員提案を踏まえ、取り扱いについては、今後検討していきたい。

二 男女混合名簿導入について

質問 男女混合名簿導入は、各市町村の教育委員会が判断することである。栄門教育長の考え方を伺う。

答弁 栄門教育長 男女混合名簿の導入については、県の推奨もあるので、学校現場と慎重に話し合いをして進めていきたい。

三 道路整備及び信号機設置について

質問 ローソン 赤道店前交差点の横断

歩道の早急な整備について伺う。

答弁 宮城建設部長 議員指摘のとおり、横断歩道内アスファルト路面の盛り上がり箇所は横断歩行者が足をつまずき転倒する危険性があると考えられ、市としても、横断歩行者の安全を確保するため、県道管理者である県中部土木事務所へ横断歩道の補修整備を早急に対応するよう要請していきたい。

質問 あげな小学校近くの交差点は、押しボタン式信号機の設置がいいと思うが、当局の考えを伺う。

答弁 上門市民部長 議員指摘のとおり、児童生徒の安全を確保するためにも、歩行者専用になる押しボタン式信号機の早目の設置が必要と考え、早急にうるま警察署に要請していく。

四 保育・子育て問題について

質問 現在でも職員の確保が困難な中で預かり人数が増え、クラスを増設した場合、職員の確保は大丈夫なのか。

答弁 嘉手苅指導部長 人数超過によるクラス増については、障がい児加配教諭も含め、園の状況を勘案し、適正に総合的に判断していきたい。

※他に「こども議会の開催について」「うるま市小・中学校プール管理について」「うるま市子ども子育て支援事業計画について」質問しました。



一 諸事業の取り組み状況について
二 学校耐震化について

おくだ おさむ
奥田 修

一 諸事業の取り組み状況について

質問 島しょ地域の振興事業における費用対効果の基本的考えを伺う。

答弁 喜納企画部長 同地域の振興に関する事業や施策を進める上で同効果が低い理由だけで可否を判断すべきでないと考えている。

質問 市道与那城18号線道路整備の取り組みについて、事業執行は予定通りか伺う。

答弁 宮城建設部長 今年度から平成31年度まで5カ年計画で、状況にもよるが、平成30年度工事着手予定。

質問 彩橋小中学校技術向上と安全策のグラウンド整備について。

答弁 赤嶺教育部長 同18号線整備事業主管課と調整・協議し事業採択に取り組む。

質問 同校通学路の安全確保の為にスクールゾーン標示等の整備について。

答弁 上門市民部長 同道路整備工事計画に際し、注意喚起の同ゾーンを設置する。

質問 平安座排水路整備事業の取り組みと工事着手時期について。

答弁 宮城建設部長 工事入札を終え、完成は11月末予定。

質問 浜区市道勝連6-4号線新規道路整備の取り組みについて。

答弁 宮城建設部長 国交省の補助事業での採択は厳しい状況にあり、石油備蓄交付金活用を考え、現在の事業整備状況

を見極め事業化に努める。

質問 平安座区下水道の取り組みについて、平成27年度基本設計が実施できない理由と平成28年度実施見込みについて。

答弁 三浦水道部長 平成27年度は、市の整備構想の見直しがあり見送られた。平成28年度の実施については、財政計画等の調整を図り、自治会への説明を行い進めていく。

質問 金武湾・平安座南港多目的広場野外ステージ屋根整備の工事着手時期について。

答弁 宮城建設部長 今年9月までに建築設計業務の発注。次年度以降工事着手。市として地元自治会の要望も設計に反映されるよう県へ要望していく。

質問 県道10号線と浜比嘉大橋との交差点信号機の供用開始について。

答弁 宮城建設部長 県警より道路改良の依頼があり、工事の準備を進めていたが、コンビニの出店により、更なる改良が必要なことから、変更案を提出し、協議を急いでやっているところである。

二 学校耐震化について

質問 国の耐震化100%を目標とする本市の対応について。

答弁 赤嶺教育部長 本年度中に国の目標とする100%完了は困難だが、本市は小中学校87%、幼稚園78・9%の設定を行い、年次的に耐震化の向上を図っていく。



一 河川管理及び整備について
二 地域活性化について

たひら たいじゅん
平良 榮順

一 河川管理及び整備について

質問 天願川河口付近に異常繁茂する水草の、水生生物への影響を伺う。

答弁 上門市民部長 生態系に与える影響が懸念される。

質問 これまでの漁業被害と対応を伺う。

答弁 上間経済部長 昨年の台風19号により赤野漁港に大量の流木やゴミが流れ込む被害があり、市と地元漁業者で撤去した。

質問 昨年7月9日に発生した天願地域の住宅浸水被害について、県の検証に基づいた原因について伺う。

答弁 宮城建設部長 天願橋付近の流量が106%の計画を上回り、天願橋下流の未整備箇所約400mの通水断面が計画の4割から6割と狭いことから流れが悪く、天願川に流入している雨水幹線が、天願川の水位の上昇で排水不良となり、浸水被害を大きくした。

質問 その後の対応について伺う。

答弁 宮城建設部長 未整備箇所の整備が必要。未買収用地3筆は地権者と粘り強く交渉を行い、並行して土地収用法の事業認定手続きを開始する。

質問 天願川河床のしゅんせつについて伺う。

答弁 宮城建設部長 8月までに赤田地橋から天願橋付近までのしゅんせつ工事を発注予定。

二 地域活性化について

質問 ふるさと納税推進について、市の取り組み及び考え方について伺う。

答弁 喜納企画部長 お礼状の送付と広報紙への掲載で対応。特産品等の返礼は控えている。

質問 税収の観点と地元特産品の販売の立場から、総務部の考え方を伺う。

答弁 天願総務部長 他自治体へのふるさと納税が増加傾向にあり、本市市税の控除額が増えて税収が減少している。

質問 今後の取り組み、方針の変更が考えられるか伺う。

答弁 喜納企画部長 新年度からの取り組みを検討する。

質問 闘牛による地域活性化について、石川多目的ドームの整備について伺う。

答弁 上間経済部長 石川イベント公園機能強化事業調査に基づき進める。

質問 石川多目的ドームの駐車場整備について伺う。

答弁 上間経済部長 既存公園周辺エリアに500台、その中に大型バス4台計画されている。

質問 ソフト面及び牛主への活性化支援策について伺う。

答弁 上間経済部長 牛主の身の回りの支援が必要であると考え、闘牛文化リマスタープロジェクト調査で今後の方向性を取りまとめる作業を行い、成果も踏まえてソフト面での事業展開を具体化していく。

※他に「道路行政について」質問をしました。



宮里 朝盛
みやざき ちようせい

- 一 マーラン船の復元の目的と活用状況について
- 二 喜仲自治会から要請のあった道路・排水路(溝)整備について
- 三 米軍航空機による爆音被害について

一 マーラン船の復元の目的と活用状況について

質問 マーラン船の復元の目的を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 マーラン船の造船技術を保存活用することで、その伝統技術を次世代へ伝承及び継承を目的としている。

質問 観光面でもっとアピールできないか。

答弁 上間経済部長 現状での観光分野の活用は厳しい。

質問 操船技術者の確保と育成について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 現在、操船技術者がいないので、勝連海洋クラブと連携をとり、帆走練習を実施している。

質問 維持管理について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 海の文化資料館内で公開、展示しており、日常点検が容易に行えるようにしている。

質問 保管施設の整備の考えはないか。

答弁 赤嶺教育部長 今後、財政当局と調整し検討したい。

質問 今後、どう活用していくか。

答弁 赤嶺教育部長 学校教育や生涯学習に活用しながら県内外への普及活動、観光や地域おこしの素材として、関係部局と連携し活用を検討したい。

二 喜仲自治会から要請のあった道路・排水路(溝)整備について

質問 喜仲4丁目19番17号付近の側溝の整備ができないか。

答弁 宮城建設部長 個人敷地に住宅があり、前面の通路は個人のもので市道ではない。今後、その他道路から先の側溝までは市の維持管理での整備を

考えているが、専用通路は個人での対応をお願いしたい。

質問 喜屋武669番地付近の排水溝の整備を早目にできないか。

答弁 宮城建設部長 今後、排水路整備計画の中で前向きに検討していきたい。

三 米軍航空機による爆音被害について

質問 騒音測定器設置の目的を伺う。

答弁 喜納企画部長 平成25年4月から市役所本庁舎屋上、市民芸術劇場屋上、与勝中学校屋上に設置しており、防音区域外の航空機騒音の科学的なデータを積み上げ、今後の騒音被害に対する国等への要請のバックデータとしての活用を目的としている。

質問 測定結果を定期的に広報紙に掲載できないか。

答弁 喜納企画部長 今後、広報紙も活用し市民への周知に努めたい。

質問 航空機騒音の影響による健康調査が必要と思うが。

答弁 喜納企画部長 関係市町村並びに軍転協と連携を図っていきたい。

質問 騒音防止協定の内容を伺う。

答弁 喜納企画部長 航空機騒音による生活環境や健康被害防止のため、国は環境基本法に基づき航空機騒音の環境基準を定めたが、米軍基地や米軍機の騒音を規制できないため、日米合同委員会で検討され、承認された。

質問 石川地区にも測定器を設置できないか。

答弁 喜納企画部長 今後、増設を検討したい。



下門 勝
しもじょう まさひろ

- 一 福祉行政について
- 二 防災行政について
- 三 教育行政について
- 四 口腔ケア対策について

一 福祉行政について

質問 重度心身障害者(児)医療費助成制度の自動償還払い方式を提案して一年が経過した。早急な導入に取り組めないか。

答弁 山城福祉部長 早急な実施に向け、鋭意取り組んでいきたい。

二 防災行政について

質問 市職員が非常招集時に直ちに防災対策本部へ登庁するには、勤務時間は勿論のこと家庭内でも大地震に備え対策等を行い、家族や自分自身が無事にいる事が大事である。取り組みを伺う。

答弁 天願総務部長 うるま市災害時職員行動マニュアルを全ての正規職員へ配布し、緊急参集時に災害応急対策業務に迅速に対応できるよう防災意識を高める取り組みを行っている。

三 教育行政について

質問 与勝第二中学校は体育館の老朽化が著しく、生徒の安心安全を考え早急な改築が必要だが、計画を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 平成28年度に実施設計、29年度に工事着手、完成を目標としている。

四 口腔ケア対策について

質問 所得が平均以下の割合、相対的貧困率が16%となるなど格差が広がる中、歯科に行けず虫歯が悪化し、口腔崩壊状態になる人がいる。貧困を背景とした口腔崩壊は、治療に行くにも時間

とお金に余裕がないなど、親の経済状態で子供の虫歯を悪化させ、世代を超えて連鎖する危険性がある。低所得世帯や乳幼児及び児童生徒への口腔ケア対策と支援について伺う。

答弁 山城福祉部長 生活保護世帯は医療扶助が行われ、子ども医療費助成、母子及び父子家庭等医療費助成がある。

答弁 嘉手苅指導部長 準要保護対象児童に対して歯科検診結果を受け、学校保健安全法医療券を発行し、無料治療を促している。

質問 本市にも低所得世帯など生活困窮者に対する様々な制度があるが、健康に直結する口腔崩壊という口の健康で悩んでいる方もいて、制度の狭間で確実に困っている方がおり、その方々も救える取り組みが望まれるが、所見を伺う。

答弁 山城福祉部長 医療費助成に係る各事業の周知や利用促進を図り、関係部署と連携を図っていく。

答弁 上門市民部長 今後、専門機関等の意見を伺いながら調査研究し検討していきたい。

答弁 嘉手苅指導部長 要保護、準要保護児童生徒への支援継続を図り、指摘のあった虫歯の有病率の対応やフッ素を活用した取り組みを検討していきたい。



- 一 赤道小学校校舎増改築事業について
 - 二 (仮称)米原緑地広場整備事業について
 - 三 具志川中学校区への児童館整備計画について
 - 四 赤道地内への排水路整備と土砂崩れ対策について
 - 五 米原地内への排水溝整備について
 - 六 指定ごみ袋の改良について
- なかほど 仲程 孝

一 赤道小学校校舎増改築事業について

質問 体育館とプールの増改築について一体的に行うべきだと考えるが見解を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 学校敷地に隣接する保育所跡地を含めた全体配置計画を多角的に検討する。

質問 校舎増改築事業のタイミングと同じくして、敷地内に流れ込む河川への蓋掛け工事等を行い、敷地の有効活用につなげられないものか。

答弁 赤嶺教育部長 水路の機能、集水区域、環境面、安全面など多方面から管理者と調整しながら、学校敷地の有効活用を図りたい。

二 (仮称)米原緑地広場整備事業について

質問 名称の決定について、地域住民の意見を参考にしながら、米原自治会を中心とした市民へ公募する形式がとれないものか。

答弁 島袋都市計画部長 募集の方法から決定に至るまで、地域の意見を尊重し、進めていきたい。

三 具志川中学校区への児童館整備計画について

質問 具志川中学校区への児童館建設について見解を伺う。

答弁 山城福祉部長 財政的な課題も多く、早急な対応は困難な状況である。今後、児童館の建設については、うるま市児童館整備に係る基本方針策定調査に基づき、整備を進めていく方針である。

四 赤道地内への排水路整備と土砂崩れ対策について

質問 赤道自治会要請への対応、回答を伺う。

答弁 宮城建設部長 この道路位置指定道路は民間業者又は個人所有の道路であり、また、排水路の裏山についても個人の所有地であり、個人の対応、対策が必要である。

五 米原地内への排水溝整備について

質問 米原自治会では、この10年間で3回要請している箇所である、今後の整備計画の現況を伺う。

答弁 宮城建設部長 事業費も多額になり、排水路整備の補助メニューが限られていることで、事業化に至っていない。

質問 地域住民の一人が、排水路延長上のほとんどの地権者から排水路整備に同意する旨の署名、捺印を得ており、早急な整備を検討すべきと思われるが。

答弁 宮城建設部長 今後、補助事業の基礎資料となる排水流域調査や排水路断面の検討を行い、新たな補助メニューを検討し、実施計画の中で事業化に向け、取り組みたい。

六 指定ごみ袋の改良について

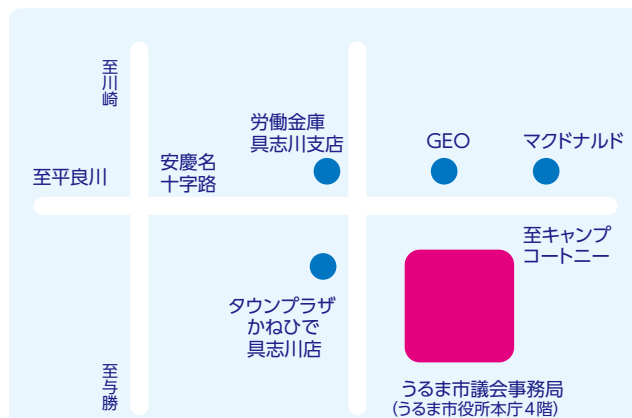
質問 本市指定ごみ袋を取っ手付き(U字型)に変更できないものか見解を伺う。

答弁 上門市民部長 導入している県内市町村の情報収集を行い、本市においても導入が適当かどうか、調査・研究を進め、検討していきたい。

《 H27.6月定例会傍聴人数 》

6月 24日	0人
29日	0人
7月 1日	2人
2日	5人
3日	7人
6日	5人
7日	5人
8日	6人
9日	13人
13日	11人
合計	44人

議会傍聴を歓迎



議場の案内図

議会傍聴の際には、議場傍聴席入口(5F)で受付してから入場してください。本会議は午前10時より開会されます。市民の皆様は、議会の傍聴を歓迎いたします。

平成27年5月第95回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
承認第 1 号	専決処分の承認について(うるま市税条例等の一部を改正する条例)	市 長	5月22日	承 認
承認第 2 号	専決処分の承認について(うるま市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	//	//	//
議案第 41 号	平成27年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (補正額:1,601,689千円 補正後予算:22,813,984千円)	//	//	原案可決
議案第 42 号	固定資産評価員の選任について(前原 博則)	//	//	同 意
議案第 43 号	教育長の任命について(米門 忠光)	//	//	//
議案第 44 号	教育委員会委員の任命について(大石 英助)	//	//	//
議案第 45 号	うるま市介護保険条例の一部を改正する条例 (低所得高齢者の介護保険1号保険料の軽減強化を図るための当該条例の改正)	//	//	原案可決
議案第 46 号	高江洲幼稚園増改築工事(建築)請負契約について(契約金額 226,800,000円)	//	//	//
発議第 8 号	米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する意見書	喜屋武 力 議員他9名	//	//
発議第 9 号	米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する抗議決議	喜屋武 力 議員他9名	//	//

米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する抗議決議

去る5月7日午後2時57分、米国原子力潜水艦ロサンゼルス級ハンプトンが休養、補給、維持目的のためホワイト・ビーチに入港し、約4日間の長時間にわたり接岸した後、11日午前9時56分に出港した。

今回の寄港で、原潜寄港は今年になって9回目、復帰後512回目(復帰前47回)となっており、平成19年から寄港頻度が増してきた中、平成20年には過去最高の41回を記録するなど、寄港回数の増加が常態化している。

本市議会においては、平成20年8月に明らかになった原子力潜水艦ヒューストンの冷却水漏れ事故や同年11月の原潜プロヴィデンスの通報なし寄港、さらに、近年原潜の寄港が異常に増加していることについて、これまで日米両政府に対し、その詳細な説明と原潜を寄港させないこと等を強く求めてきたところである。

しかしながら、寄港増の要因については「米軍の運用上の理由」として詳細な説明がないままである。

東日本大震災から4年以上経過した今日でも、原子力発電所の放射能事故の影響が収束しない中で、原潜の寄港に伴う市民や県民の放射能に対する不安は日々増大している状況にあり、日米両国政府の責任は極めて重大である。

平成17年10月に「うるま市非核平和都市宣言」を議決したうるま市議会としても、引き続き国是である非核三原則を踏まえ、日米合同委員会において米国原子力軍艦の寄港に反対する旨の議題を取り上げ、日米地位協定第27条を適用して、今後いかなる理由があるにせよ、すべての原子力軍艦を寄港させないよう確実に改定することを強く求めるものである。

よって、うるま市議会は、市民の生命・財産と生活環境を守る立場からホワイト・ビーチへの度重なる原潜の寄港に対し、厳重に抗議するとともに下記事項について強く要求する。

記

1. ホワイト・ビーチへ米国原子力軍艦を寄港させないこと。
 2. 米国原子力潜水艦の寄港については明確な説明責任を果たすこと。
 3. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。
- 以上、決議する。
- 平成27年5月22日
- 抗議決議あて先
米国国防長官 駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官
在沖米海軍艦隊活動司令官 在沖米国総領事
- ※意見書についても議決し、送付しております。
- 意見書あて先
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省沖縄担当大使 沖縄防衛局長
沖縄県知事 沖縄県議会議長

沖縄県うるま市議会

平成27年6月第96回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第 4 号	平成26年度うるま市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	市 長	6月29日	報 告
報告第 5 号	平成26年度うるま市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について	//	//	//
報告第 6 号	平成26年度うるま市国民健康保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	//	//	//
報告第 7 号	平成26年度うるま市介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	//	//	//
報告第 8 号	平成26年度うるま市公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	//	//	//
報告第 9 号	平成26年度うるま市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	//	//	//
報告第 10 号	平成26年度うるま市土地開発公社事業報告及び決算報告について	//	//	//
報告第 11 号	平成27年度うるま市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画の報告について	//	//	//
報告第 12 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(建築1工区))	//	//	//
報告第 13 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(建築2工区))	//	//	//
報告第 14 号	専決処分の報告について(与勝中学校屋内運動場改築工事(建築))	//	//	//
報告第 15 号	専決処分の報告について(天願小学校屋内運動場増改築工事(建築))	//	//	//
報告第 16 号	専決処分の報告について(勝連幼稚園増改築工事(建築))	//	//	//
報告第 17 号	専決処分の報告について(車両事故)	//	//	//
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について(徳本紀子氏、 真鶴陽子氏、 前田泰宏氏)	//	7月13日	適 任
議案第 47 号	平成27年度うるま市一般会計補正予算(第1号) (補正額:140,984千円 補正後予算:52,947,386千円)	//	7月3日	原案可決
議案第 48 号	平成27年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (補正額:1,543千円 補正後予算:899,086千円)	//	7月13日	//
議案第 49 号	平成27年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第1号) (補正額:6,090千円 補正後予算:8,873,302千円)	//	7月3日	//
議案第 50 号	うるま市都市公園を設置すべき区域の決定について (米原区内の都市公園整備に伴う区域の決定)	//	7月13日	//
議案第 51 号	天願小学校校舎及び水泳プール増改築工事(建築)請負契約について (契約金額:1,202,580,000円)	//	//	//
議案第 52 号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 (うるま市総合計画審議会とうるま市総合計画評価委員会を統合し、より効果的な運営を図るための条例改正)	//	//	//
議案第 53 号	うるま市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴う条例改正)	//	//	//
議案第 54 号	うるま市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (介護保険法の一部改正に伴う条例改正)	//	//	//

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第 55 号	うるま市特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例 (特定用途制限地域に新たに農業保全地区を設置し、適用除外の許可をより適正な審査を行う 条例改正)	市 長	7月13日	原案可決
議案第 56 号	うるま市景観地区条例 (景観地域内における建築物及び工作物の制限に関し、良好な景観の形成に関する基本的事項 を定める条例)	//	//	//
議案第 57 号	平敷屋幼稚園増改築工事(建築)請負契約についての議決内容の一部変更について (変更前金額:163,080,000円 変更後金額:172,133,640円)	//	//	//
議案第 58 号	うるま市名誉市民について(當銘 由親氏)	//	//	同 意
議案第 59 号	うるま市名誉市民について(吉野 勇吉氏)	//	//	//
議案第 60 号	うるま市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 (市長等の給与月額の減額措置を講ずる条例改正)	//	//	原案可決
議案第 61 号	生涯学習センター建設工事(建築)請負契約について (契約金額:934,675,200円)	//	//	//
議案第 62 号	生涯学習センター建設工事(電気)請負契約について (契約金額:172,800,000円)	//	//	//
議案第 63 号	生涯学習センター建設工事(機械)請負契約について (契約金額:168,058,800円)	//	//	//
発議第 10 号	うるま市議会会議規則の一部を改正する規則	下門勝議員 他11名	//	//
発議第 11 号	安保法制関連諸法案の国民への十分な説明と慎重な審議を求める意見書	松田久男 議員他7名	//	//
発議第 12 号	所得税法の「寡婦控除」規定の改正を求める意見書	大城直議員 他7名	//	//
発議第 13 号	子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める意見書	平良榮順 議員他6名	//	//
陳 情 第 8 号	「所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書」採択に関する陳情	しんぐるまざ あず・ふおー らむ沖縄	//	採 択
陳 情 第 9 号	水道配管設置に関する陳情書	有限会社クリーンアイ ランド 株式会社とも 建設 港原リサイクル	//	不採択
陳情第 13 号	子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める要請	宮古島子宮頸が んワクチン副反応 被害者を支える会	//	採 択
陳情第 14 号	13回目の地球社会建設決議陳情	荒木 寛	//	不採択
陳情第 17 号	所得税法56条廃止の意見書提出を求める陳情書	沖縄県商工団 体連合会婦人 部協議会	//	//
陳情第 18 号	うるま市議会において安保関連法案に対し廃案を求める決議をすることを求める陳情書	うるま市具志 川九条の会	//	趣旨採択

平成27年8月第97回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
発議第 14 号	米陸軍H-60型ヘリコプター墜落事故に対する意見書	喜屋武 力 議員他9名	8月18日	原案可決
発議第 15 号	米陸軍H-60型ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議	//	//	//

米陸軍H-60型ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議

8月12日午後1時46分、米陸軍所属のH-60型ヘリコプターが浮原島から東約8マイル(約13km)の海上において、訓練中に米海軍艦船への着艦に失敗し墜落した。この事故で、2名の陸上自衛官を含む7名が負傷し米海軍病院に搬送された。

今回の事故現場近海は、多くの漁業者が操業しており、一歩間違えれば漁業者に重大な危険を及ぼしかねず、漁業関係者はもとより、うるま市民や県民に大きな不安と恐怖を与えたことは到底容認できるものではない。

また、今回の事故で、沖縄防衛局による県や市町村への通報は、事故発生から約2時間後で、嘉手納沖に墜落したとの第一報であった。その後、一部報道機関の情報が先行、事故現場や乗組員、負傷者などの情報が錯綜し、事実確認に追われる中、防衛局から米軍の広報文を翻訳して県や市町村に連絡があったのは、事故から6時間後であった。こうした通報の遅れは、市民の安心・安全を脅かすものであり、事故発生時の通報体制に対し、強い不信感を持たざるを得ない。

本市上空は、嘉手納飛行場や普天間飛行場からの航空機の飛行経路となっており、昭和34年の宮森小学校ジェット戦闘機墜落死亡事故をはじめ、昭和36年の字川崎へのヘリコプター及びジェット戦闘機墜落死亡事故、復帰後も米軍機の墜落事故や緊急着陸、部品落下事故は後を絶たず、市民の不安と恐怖は極限に達している。

よって、本市議会は、市民の生命、財産を守り、安心・安全な生活環境を確保する立場から、今回の事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1.事故原因を徹底的に究明し、迅速に公表すること。
 - 2.事故原因の究明及び再発防止策が講じられるまで、同型機の飛行を停止すること。
 - 3.米軍にかかわる事故等の情報が迅速に公表されるよう、通報体制の確立を図ること。
 - 4.日米地位協定を抜本的に改めること。
- 以上決議する。

平成27年8月18日

沖縄県うるま市議会

抗議決議あて先
駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事
在沖米陸軍第10地域支援群司令官

※意見書についても議決し、送付しております。
意見書あて先
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 沖縄防衛局長



平成27年8月18日に全会一致で議決し、同日、意見書を井上一徳沖縄防衛局長、抗議決議は在沖米陸軍第10地域支援群司令官宛てをトリステーション基地副司令官に手交しました。(写真は沖縄防衛局長への手交の様子)

平成27年度 うるま市こども議会が開催されました。

うるま市合併10周年記念事業の一環として「うるま市こども議会」が開催され、市内中学校の25人のこども議員が市政に対する疑問や地域に問題など、現職議員も顔負けの一般質問を行い、執行部が答弁に窮する場面もありました。

また、最後に「うるま市こども議会宣言決議」が発議され、全会一致で採択されました。



議会事務局からのお知らせ

市民への情報提供及び利便性の向上を図るため、インターネットによるライブ中継及び録画中継を実施しておりますので、お知らせ致します。

なお録画中継の配信は、当該本会議終了後1週間以内に配信する予定です。



〔 9月定例会は9月9日(水)から開会しております 〕